

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文・社会系）出題意図

科目：公共，倫理

高校教科書で扱われる学習内容からの出題を基本として、現代の諸課題を追求し、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論についての知識と理解を問う出題をした。「公共」においては、倫理，政治，経済のそれぞれの分野から、基本的事項の理解を問う問題とともに、資料から必要な情報を読み取る問題も出題した。「倫理」においては、古今東西の思想・宗教から、できるだけ偏りのないよう幅広い事項を取り上げて、知識と理解を問う出題をした。

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文系・社会系）出題意図  
科目：公共，政治・経済

学習指導要領の改訂趣旨ならびに文理学部アドミッション・ポリシー等に基づきつつ、公共、政治、経済各領域ともに教科書において記載されている基礎的事項を中心に、「社会的な見方・考え方が身についているか（その前提となる基本的な知識修得、概念や理論等についての理解、概念や理論等に関連付けての判断等）、を測定することを企図した出題としている。

「公共」については、社会的事象を倫理・政治・法・経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）からとらえるために必要となる基本的知識の修得、概念や理論等についての理解を幅広く問うことを企図した出題を中心に、資料等の読み取りを通じ理解と判断を問う出題等も並行して行っている。また「政治・経済」については、「現代日本における政治・経済の諸課題」「グローバル化する国際社会の諸課題」内で取り上げられる中項目等を念頭に、政治領域については政治・法律それぞれの視点からの設問を、経済領域については経済の基礎となる仕組みから国民経済と国際経済までを範囲として網羅した設問にくわえ、両者をつなげる部分として現代社会の諸課題を取り上げた設問を設けている。政治・経済いずれの領域においても、社会的事象をとらえるための「多様な視点」を意識する形での基本的知識の修得、概念や理論等についての理解を幅広く問うことを企図した出題を中心としつつ、資料や対話文等の読み取りを通じた思考力や判断力等を問う出題も並行して行っている点が特徴である。

なお、令和7年度については旧課程下で学んだ学生がいることも念頭に範囲等を調整した点も併せて申し添える。

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文・社会系）出題意図  
科目：歴史総合、日本史探究

本学部のアドミッションポリシーのうち、特に、「①多様で複雑な世界を理解するために必要となる基礎学力を有すること」に鑑み、歴史総合、日本史探究の入試問題においては、古代、中世、近世、近・現代の各時代からバランスよく出題し、それぞれの時期における日本の歴史及び関連する世界の歴史（歴史総合領域）の基礎的な知識を幅広く問うことを意図している。

また、文部科学省学習指導要領における「自らの考えを論理的・創造的に形成する思考・判断の能力」や「思考・判断した過程や結果を的確に、更には効果的に表現する能力」を評価するため、史（資）料を活用した出題や、与えられた情報からその背景を問う出題などを取り入れている。

具体的には以下の通りである。

#### I 地図問題

原始・古代の出来事や歴史的事実の年代の推移について、日本列島のなかで正確に理解しているか。また日本を含めた東アジア地域の、年代が異なる地図を提示し、それらの年代と歴史的事象を、正確に理解しているかを問うた問題である。

#### II 文章問題

中世の出来事について、問題文のなかに書かれている絵巻物の内容、鎌倉時代の社会の様相、蒙古襲来と社会の変化、中世遺跡の情報について、正しい理解をしているかを問うた問題である。

#### III 図表問題

近世の出来事について、図を提示しそこから読み取れる日本及び関連諸国との歴史的情報を、正確に抽出できるか。また、系統図から歴史的人物の関係性と歴史事実を正確に理解しているか、を問うた問題である、

#### IV 史料問題

近現代の資料を提示して、その資料が描き出す当時の日本と世界の様相を、正確に理解しているかを問うた問題である。具体的には当時の出来事に関する正誤、出来事・歴史的用語との関連性、出来事の年代（順序）問うている。

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文系・社会系）出題意図

科目：歴史総合，世界史探究

主たる教科書において記載されている基礎的な説明事項、および歴史地理的情報を把握しているかを測る問いを出している。また、前近代と近現代、アジアやヨーロッパといった時代・地域に関する知識や理解に偏りが無いかを見ることにも留意している。加えて、ジェンダーのような現代社会と大きく関わる課題につながるトピックを取り上げることで、過去についての学びが、これからの生活と有意な結びつきを持たないものとなってしまうかを確認することも視野に入れつつ作問を行なった。

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文・社会系）出題意図  
科目：地理総合，地理探究

本試験問題の出題意図は，自然環境，産業・エネルギー，都市・人口，地域誌（ヨーロッパ等）といった地理学の広範な基礎知識を問うとともに，地図，統計資料，図表を多角的に分析・解釈する論理的思考力を評価することである。

特に，自然災害やグローバル化，資源問題，人口動態といった現代社会の諸課題への深い理解と，それらを各地域の具体的事例と結びつけて考察する能力を重視している。  
また，日本の地域的特色と世界の動向を比較・関連付けて把握する，現代社会に不可欠な地理的な視点と資質を問う構成となっている。

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式(人文系・社会系)出題意図  
科目:数学

I. 以下のような様々な分野の基礎的な知識が定着しているかを確認。

(1) 図形と計量(数学I)、(2) 集合と論証(数学I)、(3) 複素数と方程式(数学II)、(4) 微分法と積分法(数学II)

II. 場合の数と確率(数学A)に関する基本的な知識を確認するとともに、指数関数と対数関数(数学II)の知識を確認。

III. 空間ベクトルに関する基本事項が身につけているかの確認。

IV. 放物線にまつわる以下のようなさまざまな基本事項を身につけているかの確認(微分法と積分法 数学II)。

(1) 放物線の接線を求めること (2) 放物線の平行移動、放物線と直線で囲まれた面積を求めること、(3) 2つの放物線の共通接線を求めること

以 上

令和7年度一般選抜日本大学文理学部A個別方式（人文系・社会系）出題意図  
科目：情報

情報に関する基本的な概念や分析手法について、教科書掲載の内容を正確に理解していることを測る出題を行っている。特に、アルゴリズムに関する問題では条件分岐や繰り返しについて、情報表現に関する問題ではメディア表現の原理について、深く厳密な理解に基づいて解答することを求めている。シミュレーションやネットワークに関する問題では、教科書の知識を実社会の問題に適用する応用力を求めている。

以 上